

次世代育成委員会

委員長 佐藤 裕之

委員会報告

2017年度次世代育成委員会は地域の方のご協力や様々な団体のご支援のもと事業系委員会の担いを完遂することができました。一重に担当副理事長そして委員メンバー皆さまのお力添えあつてのことであります。報告書の一文をお借りし感謝を申し上げます。

はじめにスポーツの素晴らしさと能代山本の魅力を広く発信するため、地域において過去から現在・現在から未来へと受け継がれてきた地域特有の感性を活かした「第1回次世代育成事業」構築に取り組み、県内外において知名度の高いバスケットボールを活用した「能代JCドリームカップ」7月開催へと至りました。バスケットボールという地域のたからを通じて次世代同士の交流ならびに地域間交流を通して郷土への意識を育てることのできる事業を構築できたと実感しております。そして保護者からは来年以降も開催して欲しいとの要望の声も上がり継続事業としての期待が望まれております。

また「第2回次世代育成事業」として、子ども達に人と地域との絆や大切さを知っていただき自らが住まう地域への関心を高めるため、地域の魅力を活かした事業「ほくらのふるさとの未来を見に行こう!～のしらの地域資源～」を起案し10月に実施いたしました。地域が保有する資源に足を運び、実際に見て触れて感じていただくことによって自分たちが住まうふるさとへの認識を深めていただき、さらに地域に関わる多様な体験を通じて能代市が進めるまちづくりに触れていただくことによって子ども達にこれからの能代そして未来について考えてもらえる良いきっかけとなる市民参加型の事業となりました。また事業を通じて子ども達が日常生活では得がたい経験を獲得し、成果を各家庭において積極的に話題にするなど地域について親子とともに学ぶ楽しさを醸成することができたと感じております。

また担当例会において、2月定例会では八幡神社宮司を講師に迎え次世代である子ども達の良き手本となるため、礼節を重んじその大切さや地域に根差した神社の歴史とその作法について勉強をさせていただきました。そして6月定例会では二ツ井町での事業開催に先駆け、二ツ井青年会議所の歴史を紐解きその姿や合流に至った経緯について学ぶため、二ツ井青年会議所OBの皆さまそして合流に向けてご尽力いただいた先輩をお迎えして互いに懇親を深めさせていただきました。さらに8月定例会では卒業予定者より熱いメッセージをいただき、ご卒業される4名の考えや想いを深く受け止め次年度・次々年度へとこれからも励んでいこうという強い心が湧いてきました。

予定者の段階から今日まで自身が住まう地域において知らなかったこと気づきや様々なことについて勉強をさせていただきました。自分の性格は変えられないが行動は変えられる、なにより地域とのつながりを体感することのできた実りある1年を送ることができました。委員会で得た学びと経験を活かし次年度も全力で挑んでまいります。

事業報告

(日付)	(内容)	(会場)	(公益性)
・2月23日	2月担当例会「礼節マナー」	金勇	
・6月23日	6月担当例会「想いと情熱の継承」	プラザ都	
・7月16日	第1回次世代育成事業「能代JCドリームカップ」	二ツ井町総合体育館	○
・8月3・4日	参画協力「天空の不夜城」	101号線沿い	○
・8月23日	8月担当例会「卒業予定者ファースト」	プラザ都	
・10月18日	職業講話「能代市立第二中学校」	能代市立第二中学校	○
・10月28日	第2回次世代育成事業「ほくらのふるさとの未来を見に行こう」	能代市地内	○
・通年	想いを引き継いだ会員拡大運動		

決算

《項目》	《金額》
・2月定例会 「礼節マナー ～神社の作法～」	19,137円
・6月定例会 「想いと情熱の継承 ～揺るぎない熱意が組織を動かす～」	20,000円
・第1回次世代育成事業 「能代JCドリームカップ」	505,129円
・8月定例会 「卒業予定者ファースト ～卒業するのはオレたちだ!」	20,000円
・第2回次世代育成事業 「ほくらのふるさとの未来を見に行こう～のしらの地域資源～」	365,467円
合 計	929,733円